

ワクチン誕生

いまだ感染拡大が続く新型コロナウイルスの終息を願い、ワクチンの接種が進められています。免疫獲得のための予防接種という意味で使われるワクチンという用語は、1796年に英国の外科医エドワード・ジェンナーにより初めて見出された天然痘予防のための牛痘(牛の天然痘)を語源とするものでした。ジェンナーは、牛を飼育する家などで牛痘に罹患した人は天然痘にならないという風聞をもとに、その膿を利用した安全な種痘(牛痘法)を確立し、以後それがワクチンと称されるようになります。このワクチンにより人類は天然痘を自然界から唯一根絶せしめましたが、この時、速やかにこの牛痘法が受容されたわけはありません。

古河藩医河口家の啓蒙活動

いわゆる鎖国の時代のこと。紆余曲折を経て輸入された牛痘種痘法ですが、やはり庶民にとって

容易に受け入れられなかったようです。接種後には声の牛のように変わってしまう、頭から角が生える等々と流言が飛び交い、嘉永2(1849)年には蘭方禁止令が発せられる始末となりました。

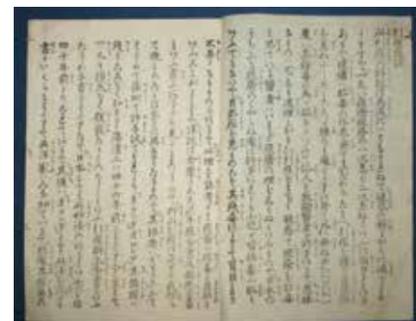
そのころの古河藩医には、杉田玄白の弟子であった河口祐卿(信順)や、その子で種痘普及の第一人者である伊東玄朴の門下生の河口杏齋(信寛)などがおりましたが、やはり牛痘法による種痘の普及には相当の腐心を重ねていたようです。古河藩における種痘の濫觴は、それを拒絶する者たちが多いことへの対処と安全性のアップのため、筆頭家老小杉監物が河口祐卿に依頼してわが子、春三郎へ牛痘法による接種を行ったことをはじめとするとされています。

種痘普及のキャンペーン

その河口家医学資料に伝わる「引痘夜話」という小冊子は、平易なことばで牛痘種痘法(ワクチン)の安全性と予防効果を語り伝えるように綴っています。三河吉

田愛知県豊橋市出身の利光仙庵により作成された本品は、いわば天然痘ワクチンの安全性と絶大な効果をPR・発信するためのパンフレットと言つてよいのかもしれない。

ちなみに嘉永3(1850)年、仙庵が出版した「魯西亜牛痘全書」は、中川五郎治が将来したロシア語書籍の原書を訳したものでした。中川五郎治とは、文化4(1807)年4月、ロシア人による択捉島襲撃事件で拉致されて5年間にわたるロシア抑留を経験、その後発生したゴロニン事件の



▲図版「引痘夜話」 河口家医学等関係資料 茨城県指定文化財

捕虜交換要員として帰国したという経歴の持ち主で、松前藩に仕えた後、日本における最初の牛痘接種を行っています。文政7(1824)年のことでした。蛇足ながら、中川がロシアから将来した書籍を翻訳したのは幕府役人で語学の天才と称された馬場佐十郎、その訳稿を出版した者が利光仙庵です。

そのほか河口家の医学関係資料には、当時の迷信を払拭するため、種痘医桑田立齋が作成して啓蒙と普及に活用した錦絵も存在しているのです。

それらの文化財には、いずれも未知なるワクチンの有効性と危険のないことを多くの人々に知ってもらうために智恵を働かせて普及活動に奔走する医師たちの辛苦と弛まぬ努力を垣間見ることができるといえます。

古河歴史博物館学芸員 永用俊彦
古河歴史博物館テーマ展「近代医学のさきがけ河口家の人びと」
10月30日(土)～11月28日(日)

【児童・読み物】

あおぞらこども食堂はじまります！

いとうみく 作

「こども食堂」ってどんなところ？ みんな一緒にご飯を食べたり、おしゃべりしたり、本を読んだり…。全国に広がるこども食堂を舞台にした、おいしい食べ物がいっぱい、心あたたまるお話。おまけの解説ページ付き。

出版社…ポプラ社

【絵本】

ふたりのひとりたび

山咲めぐみ 著

ひとりで旅にでたきつね君。旅の途中から、鳥さんがついてきた！ きつね君は「おまえがいたら、ひとり旅じゃなくなっちゃう」と鳥さんに言うが…。写真と絵で瑞々しい世界を描く新感覚絵本。

出版社…みらいパブリッシング

図書館の本棚から



三和図書館

【一般・地球科学】

日本のアンモナイト

大八木和久 著

北海道を中心に、日本全国で採集できるアンモナイト。50年以上にわたり化石採集を続けてきた著者が、アンモナイトの種類から、採集地、標本の作製方法まで、300点を超える写真とともに、その楽しさ・奥深さを語る。

出版社…築地書館

【一般・小説】

プリンス

真山仁 著

留学生のピーター・オハラは、大学で政治活動に情熱を注ぐ犬養渉と知り合う。祖国メコンを民主化するため、父・ジミーが大統領選に出馬することを聞いたピーターは、渉とともに帰国するが…。「Voice」連載を加筆修正。

出版社…PHP研究所

頼られる薬剤師に

鯉沼涼音さん 大和田小学校6年生

私の将来の夢は、頼られる薬剤師になることです。きっかけは、ドラマの主人公が人のために精一杯働く姿を見て、自分もこんな薬剤師になりたいと思ったからです。

先日、学校薬剤師の方のお話を聞く機会がありました。薬剤師の仕事は、薬を調剤するだけでなく、研究開発したり、情報提供をしたりするなど様々な種類があることを知りました。

私は、誰もが薬を安心して使えるよう、薬の説明が詳しくできる調剤薬剤師になりたいです。夢の実現のため、しっかり勉強していきたいです。



わたしの夢